

ミッション・イノベーション
CDR ミッション ワークショップ



CDR : 技術革新への実践的アプローチの探求

2025年10月8日 (水) - 9日 (木)

ウェスティンホテル東京 日本

オンライン参加者用プログラム (最終版)

目的	本ワークショップではCDRの市場拡大に向けた機会を提供する。また、CDR技術の地域におけるケーススタディを取り上げ、インパクト、課題、将来の連携を含めた解決策に関する詳細な分析を行う。ワークショップは登壇者及び対面参加者とのネットワーク構築の機会も提供する	
日時	2025年10月8日 (水) 9:30 - 17:00 JST / 2:30 - 10:00 CEST / 20:30 ⁻¹ - 4:00 EDT 2025年10月9日 (木) 9:30 - 16:50 JST / 2:30 - 9:50 CEST / 20:30 ⁻¹ - 3:50 EDT	
場所	ウェスティンホテル東京 (B1F 楓) 東京都目黒区三田 1-4-1 恵比寿ガーデンプレイス内	
フォーマット	ハイブリッド (収容人数: 会場 60-100、オンライン 100-200)	
主催者	経済産業省	
主なセッション	1. <u>CDRの全体像</u> : 最新のグローバルトレンド、政策動向及び技術の共有 2. <u>産業発展に向けたCDRイノベーションの加速</u> : DAC, BiCRS及び風化促進の実証プロジェクトやスタートアップの紹介 3. <u>CDRの需要・市場拡大の加速</u> 4. <u>民間企業や地方自治体が携わる地域活性化の事例等のケーススタディ分析</u> : TEA、LCA、MRV、カーボンクレジット、コベネフィット等様々な文脈におけるCDR技術のインパクト、課題、解決策に関する詳細な分析	
参加登録	オンライン参加登録は以下のフォームよりお願いいたします。 https://forms.office.com/r/rvgQyzd5X *対面参加は招待のみとなります。	
その他	参加登録者にはワークショップの録画を開催後に公開 (10日間程度) 日英同時通訳を用意いたします	

[1] 10月8日(水)

CDRの全体像

9:30 - 9:45 開会挨拶 ミッション・イノベーション事務局挨拶

主催者挨拶

- ・ 今村 亘、イノベーション・環境局 審議官 (イノベーション・環境局担当)、経済産業省
ミッション・イノベーションより開会挨拶
- ・ Dr. Eleanor Webster, Head of Secretariat, ミッション・イノベーション (録画発表)

9:45 - 10:15 キーノート – 国際的な気候目標におけるCDR

IPCC AR WGIII代表者によるグローバルトレンド、政策動向、技術を含むCDRの発展に関する最新の観点の共有及びQ&Aを行う

- ・ 杉山 昌広、教授、東京大学未来ビジョン研究センター

10:15 - 10:45 キーノート – CDR の現状

グローバルにおけるCDRの現状に関する共有及びQ&Aを行う

- ・ Tank Chen, Head of Community and Content, CDR.fyi

[1] 10月8日(水)

10:45 - 11:00 キーノート – ミッション・イノベーション CDRミッション：活動の概要

ミッション・イノベーションにおけるCDRの活動を紹介する

- Rufaydah Alyamani, Sustainability and Climate Change Professional Engineer, Ministry of Energy, サウジアラビア王国

11:00 - 11:30 休憩

11:30 – 12:20 各国の政策・取組 - ミッション・イノベーションメンバー国

MI CDRミッションメンバー国が各国の脱炭素化に向けた道筋の文脈において、CDRの発展に関するビジョン、ロードマップ及び国家政策を提示する

- Dr. Andrew Lenton, Director - CarbonLock, CSIRO, オーストラリア連邦
- 永井 孝広、イノベーション・環境局 G Xグループ、脱炭素成長型経済構造移行投資促進課、経済産業省
- Rufaydah Alyamani, Sustainability and Climate Change Professional Engineer, Ministry of Energy, サウジアラビア王国
- Jørild Svaalestuen, Gassnova, ノルウェー王国
- Jeroen Schuppers, Senior Expert, Clean Energy Transitions, Director General Research and Innovation, 欧州連合（録画発表）

12:20 - 13:20 昼食

CDRの需要・市場拡大の加速

13:20 – 14:20 パネルディスカッション 需要・市場の拡大に向けた取組ー市場拡大

CDRオフセットの提供者と購入者が、自主的市場および規制市場に適合した高品質な除去を確保するために必要なシステムや、データ共有について議論する

各登壇者による10分間のイントロダクションの後、Q&Aを含め30分間のディスカッション

- Dr. Mai Bui, Director of Climate Science, Supercritical, 英国
- Genevieve Ding, Executive Director and Head of APAC Sustainability, JPMorganChase, シンガポール共和国
- 澤村 正、カーボンマネジメント部 部長、三菱商事株式会社、日本

14:20 – 15:20 パネルディスカッション 需要・市場の拡大に向けた取組ー支援策&政策

CDRの導入を支援する政策メカニズム（事前買取制度、税額控除、調達、規制の実施環境、枠組みなどを含む）を紹介し、官民の投資や購入、保険の取組を促進させるためには何が必要かを議論する。各登壇者による10分間のイントロダクションの後、Q&Aを含め30分間のディスカッション

- Nico Fairbairn, Head of Partnerships, State of Carbon Dioxide Removal, アメリカ合衆国
- Ingvild Ombudstvedt, Managing Director and Lawyer, IOM Law, ノルウェー王国
- 志村 幸美、マネージングディレクター、サステナブルビジネス部、株式会社三菱UFJ銀行、日本

15:20 - 16:00 ブレイクアウトセッション

登壇者及び参加者は、CDRの需要と市場の発展に向けた課題や提言について議論するため、以下のテーマにて討議する

- MRVー現在のMRVアプローチの短所や長所を特定し、改善案を提示

16:00 - 16:20 休憩

16:20 – 16:50 ブレイクアウトセッションの結果報告

スピーカー: ブレイクアウトの代表者

16:50 – 17:00 1日目のまとめ

- Juho Lipponen, CDR Mission Coordinator, Mission Innovation

[2] 10月9日(木)

産業発展に向けたCDRイノベーションの加速

9:30 - 10:30 ICEF2025 セッション6 二酸化炭素の除去と利活用 <https://www.icef.go.jp/register/>
※ICEF2025へ参加希望の方は、上記のリンクよりご登録をお願いいたします

10:30 - 10:50 休憩

10:50 - 11:10 DAC LCA/TEA報告書の発表

共通のLCA/TEAの算定手法を基に、各国のDACプロジェクトにおけるケーススタディの結果を取りまとめた報告書を紹介する

- ・ 森本 慎一郎、CCUSシステム評価研究チーム 研究チーム長、AIST、日本

11:10 - 12:00 最先端技術・取組

実証プロジェクト及びスタートアップの取組を紹介する。Q&Aを各登壇者毎に10分程度実施する

- ・ 藤川 茂紀、教授、九州大学、日本
- ・ 後藤 明生、農業R&D責任者、株式会社フェイガー、日本
- ・ Charlie Renzoni, Vice President of Carbon Markets, Deep Sky, カナダ
- ・ Ehab Tasfai, Chief Technology Officer, 44.01, オマーン国

12:00 - 13:00 昼食

13:00 - 14:00 パネルディスカッション 実証段階から規模の拡大： CDR技術における導入・ギャップの解消：研究者と事業者の連携とは

CDR技術における研究開発・実証段階から大規模展開へ移行する方法を議論・検討する

- ・ Marcus Dawe, Founder and CEO, MCI Carbon, オーストラリア
- ・ Hanna Ojanen, Head of Carbon Markets and Policy, Carbo Culture, フィンランド共和国
- ・ Dr. Naser Odeh, Principal Fellow - CDR & CCUS, Climate & Sustainability at KAPSARC, サウジアラビア王国

地域別ケーススタディ

14:00 - 15:00 パネルディスカッション 地域視点で見るケーススタディ

TEA、LCA、MRVといった算定・評価手法、クレジット、コベネフィット等の多様な観点から、地域視点でCDRの開発・導入を加速化させるための対応策とその課題について分析する

- ・ Vikram Vishal, Professor, Indian Institute of Technology Bombay, インド
- ・ Dr. Jizhe Li, Assistant Professor, Tsinghua University / China University of Mining and Technology, 中華人民共和国
- ・ 岡野 守治、産業労働局 産業政策連携促進担当部長、東京都、日本

15:50 - 15:40 ブレイクアウトセッション

登壇者及び参加者は、以下のテーマにて討議する

- ・ CDRイノベーションの加速（課題を明確にし、加速化させるための提言を検討）

15:50 - 16:10 休憩

15:40 - 16:40 ブレイクアウトセッションの結果報告

スピーカー：ブレイクアウトの代表者

16:40 - 16:50 MI CDRのビジョン及び今後のステップ

- ・ Juho Lipponen, CDR Mission Coordinator, ミッション・イノベーション

16:40 - 16:50 経済産業省によるクロージング

- ・ 渡部博樹、イノベーション・環境局総務課国際室室長、経済産業省

質問等ございます場合は、以下にご連絡下さい：

CDR ミッションハイブリッドワークショップ事務局：midtc@tohatsu.co.jp